

## No.11 健康づくりの推進 （健康福祉課）

### 令和5年度までにめざす姿

- 町民一人ひとりが健康を意識して健康的な生活習慣を身につけることで、健康寿命を延ばします。
- 健診の受診率の向上や健診後の保健指導の強化により、重症患者を出さない取組を進めます。

### 令和2年度にめざした成果

- ①40・50歳代の特定健診及びがん検診受診者が増えます。
- ②精密検診が必要となった方はみな受診されます。
- ③減塩の取り組みが進み、塩分摂取量が減ることで健診の血圧異常者が減ります。
- ④健康教育、健康づくり事業に参加する人が増えることで、生活習慣を改善する人が増えます。

### 令和2年度にめざした活動

- ①休日健診（検診）の実施や魅力的な健診（検診）の周知方法について毎年内容を検討します。受診勧奨を強化します。
- ②精密検査対象者への訪問実施、受診勧奨、丁寧な説明を行います。
- ③食育プランに基づき、減塩事業を進めます。
- ④健診後の説明や健康づくりに関する事業を提供します。

### 令和2年度の成果

④コツチャレ参加者は前年同様に約230名ありました。健康ウオーキング大会については、コロナ感染拡大予防のため2回で町民のみを対象として実施しました。昨年は101人、今年度は183人の参加者がありました。また、結果説明会を感染予防のため予約制にしたところ、参加者が増えました。

### 令和2年度の問題

①②コロナ感染症拡大のため、健診実施時期を1か月遅らせたことや集団健診は12月を中心に実施をしたことから、血圧異常者や受診率の把握ができませんでした。また、胃がん検診で胃カメラができなかった期間もあったため、全体の受診率は下がる見込みです。

## 令和3年度以降の方策

### (1) 達成できた事項をさらに伸ばす方策

- ④コロナ感染拡大状況をふまえながら、安定した健康づくりの機会を提供します。

### (2) 解決すべき問題への方策

- ①②これまでの健診体制を確保しつつ、期間を延長して受診の機会を増やします。

### (3) 新たに取組む方策

- ③減塩について、各年代ごとに周知を図ります。また、町内企業とも連携して減塩の取り組みを強化する方策を探ります。